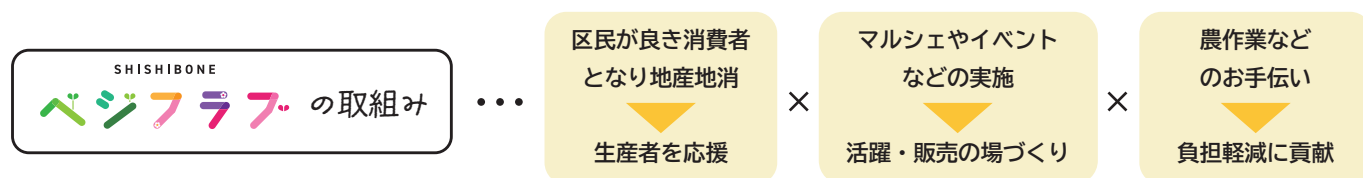


農の風景だよりでは、農の風景育成地区に関連する江戸川区での取組みについて農家の皆さまを対象に江戸川区都市計画課からお知らせします。

## ベジフラブでは「援農」の取組みを進めています

令和5年に鹿骨地域が「農の風景育成地区」に指定され、「ベジフラブ」（鹿骨の野菜と花をもっと好きになる地域のクラブ活動）と名付け、区民が地元の野菜や花にふれる機会を創出してきました。その中で、令和7年度から「援農」をキーワードに取組みを強化してきました。「農」や「食」に関心を持っている区民が、少しずつ農家さんと関係を持つことで、生産者と江戸川区の農業をもっと応援できるのではないかと考えています。

農家の皆さまのお声やアイデア、要望を聞かせていただきながら、農の風景保全に貢献できればと思います。今年度重ねてきた「援農」についての取組みや活動をご紹介します。



## Topic 1 「援農」の実験的取組み（援農体験ツアー）

令和7年10月に、「援農」とはどういったものなのかを実際に体験するツアーを開催しました。

「区民が畑作業を手伝うには、どういった作業なら上手いのか?」「手伝ってもらうことで、本当に効果があるのか?」「自分たちが手伝って役に立つのだろうか?」といった区民や農家さんの疑問や心配を検証してみようと、まずは実験的に取組むことにしました。ツアー当日は3人の農家さんの畑をバスで巡り、作業を体験させていただきました。

さつまいもの掘り上げを体験。普段2日間かかるところを、20人で一気に作業することで、1時間で完了!



収穫が終わったナスやトマトの片付け作業。皆さん、初めての作業は新鮮で楽しかったようです。



片付け作業でも、お願いすれば楽しんでやってくれるんだと、発見がありました! 大人数で一気に行ってもらえると助かりますね!



未熟なイチジクの摘果作業。農家さんからイチジクの育成を学びました。



「ベジフラブ」では、まずやってみる、まず試してみることを大切に、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。「うちの畑でも作業を手伝って欲しい」「この作業なら誰かにやってもらえると助かる」といったことがありましたら、ぜひお声かけください。

## Topic 2 先進事例の見学（町田市見学ツアー）

「援農」の取り組みを学ぶため、令和8年2月に東京都町田市に事例見学に行ってきました。町田市は、江戸川区と同時期に「農の風景育成地区」の指定を受けており、生産者と消費者をつなげることで、農業振興を進めていこうとしています。そんな町田市では、「NPO法人たがやす」という市民団体が、約20年前から「援農」の取り組みを行っています。高齢化が進む中で、農家さんが少しでも農業を続けられるようにと、雑草取りや簡単な農作業を、市民の有償ボランティアが担っています。「NPO法人たがやす」が、ボランティアメンバーの向き不向き、農家さんとの相性を考慮しながら、丁寧に運営をしている姿が印象的でした。「援農」という取り組みは、一朝一夕で実現できるものではありませんが、こうした先進的な事例から学びながら、江戸川区に合った仕組み・スタイルを構築していきたいと考えています。令和8年度も、事例視察は行っていく予定ですので、ご興味ある方はぜひご参加いただければと思います。



## Topic 3 ベジフラブ援農クラブ

体験会や勉強会を踏まえ、「ベジフラブ援農クラブ」をスタートします。農や食に関心のある区民の方と、農作業を手伝って欲しい農家さんをマッチングすることで、農家さんが農業を続けやすい、新たなチャレンジがしやすい環境を構築できればと考えています。また、援農クラブでは、東京都の制度\*1を活用し、保険等の仕組みを使いながら、安心して農家さんも頼みやすい、区民も参加しやすい取組みにしていきます。ベジフラブでは、鹿骨一丁目第三公園の畑で、野菜の

栽培を始めました。「公園クラブ」\*2と名付け、作業日には参加者を募り、定期的に活動しています。実際に自分たちで野菜を育ててみることで、少しずつ農に関する知見や経験を積んでいきたいと考えています。こうした身近な農とのふれあいの中で、「援農」に関心を持つ区民の方を増やしていくことを目指します。



\*1 とうきょう  
援農ボランティア



\*2 公園  
クラブ

## ベジフラブが考える援農のかたち

本年度、検討してきたことを基に、令和8年度は「援農」をテーマに、活動を展開していきます。以下の4つのポイントを大事にしながらか組んでいきますので、ぜひご意見・ご要望をお寄せいただければと思います。

- ① 農作業初心者でもお手伝いができる作業があります。
- ② 一人では大変な作業であっても、参加者と協力して目的を達成できることもあります。
- ③ 農家さんのスタイルや、区民との相性について、ベジフラブ事務局が調整役として動きます。
- ④ 鹿骨地区に限らず、江戸川区全域での活動とすることで、より意義のある取組みにしていきます。